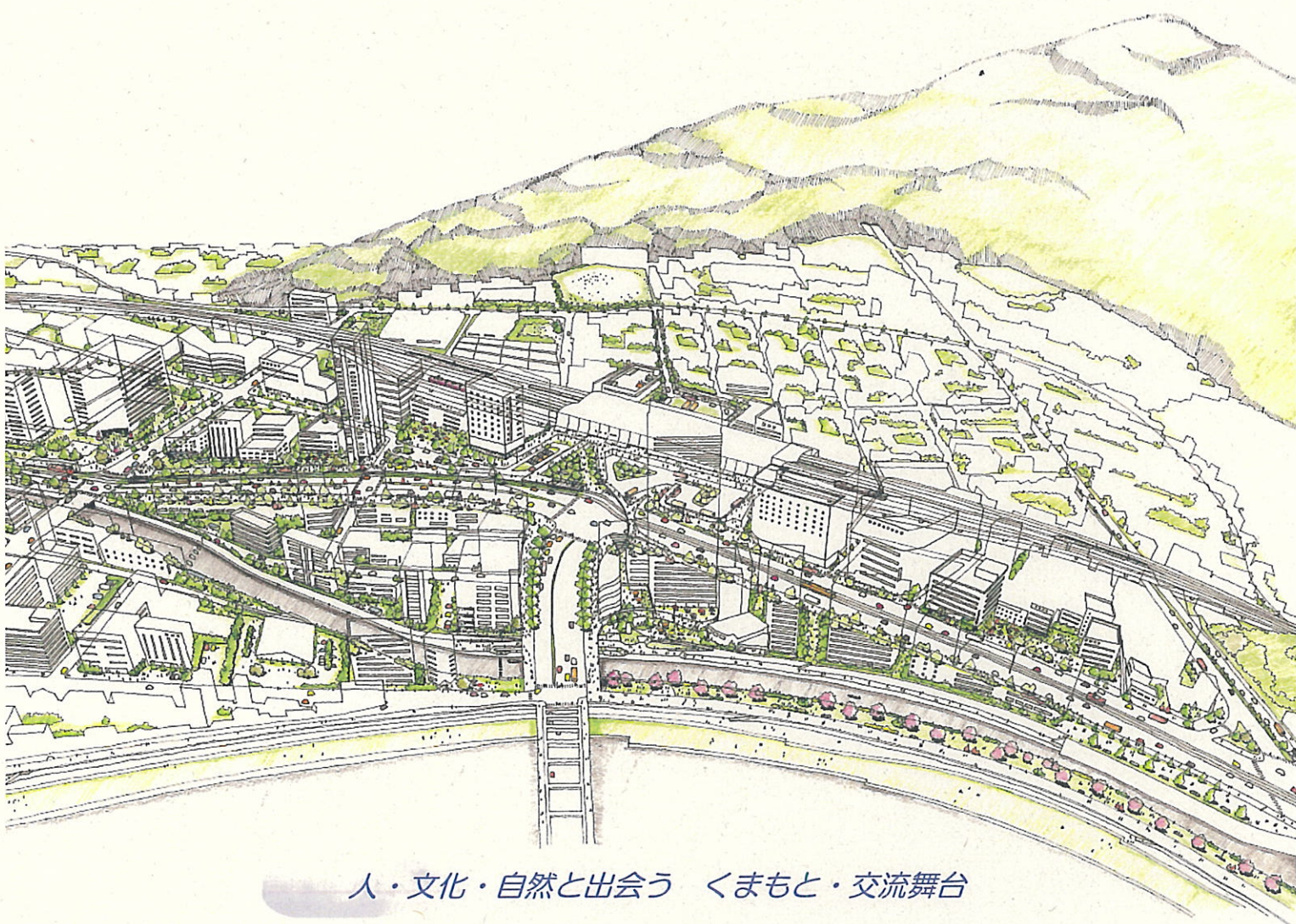


魅力ある熊本駅周辺のまちづくり

熊本駅周辺地域整備基本計画(概要版)

※平成17年6月策定



人・文化・自然と出会う くまもと・交流舞台



平成24年3月(時点)版

熊本県◇熊本市



将来像

出会いとふれ合いの副都心(※現在は中心市街地の一部としての位置付け)

まちづくりの理念

- 出会いとふれ合いのあるまちづくり
- 人にやさしく利便性の高いまちづくり
- 水と緑の自然や歴史性を活かしたまちづくり

まちづくりのテーマ

人・文化・自然と出会う くまもと・交流舞台

- ★ 地区全体が『森の都』を感じさせる空間を演出し、人々に『癒し』を提供
- ★ 地区の個性や魅力を活かし、多くの人々を惹きつける空間づくり



期待される役割

まちづくりの方向性

- 九州・熊本の情報発信の場…………… 広域交通結節点をいかして、産業・観光・教育・文化等の情報を発信する場を形成
- 新しい都市生活を創造する場…………… これまで育まれてきた生活環境と調和のとれた、生活利便性及び自然の豊かさ・空間のゆとりをいかした住宅地を形成
- 人々が交流し情報発信する拠点…………… 多種多様な情報や交流の中心的役割を果たす活動拠点の形成
- 水・緑・歴史と出会う場…………… 白川・坪井川や万日山・花岡山の水・緑の魅力を街なかに引き込む空間としてアメニティ軸を形成
熊本の歴史をアピールする場
- 人にやさしいまちづくり…………… 交流拠点の基本的事項として、人にやさしいまちづくりの実施

西口

新しい都市生活を
創造する場



東口

九州・熊本の
情報発信の場



多種多様な人々が
交流し情報発信する拠点



熊本駅周辺空間デザイン配置方針

熊本駅周辺には、以下のテーマのもとに都市空間を構成する様々なデザイン要素を配置し、駅周辺地区としての一体感あるまちなみづくりを進めていきます。

空間デザインテーマ

駅として使いやすく、公園として居心地良く、街として暮らしやすい
熊本に育まれた文化に根ざした都市空間

都市空間デザインの基本方針

① にぎわいの都市空間

○新たに基盤整備や建築物の更新等が行われる本地域において、新たな九州の拠点として、また県都熊本の玄関口にふさわしい良好な都市空間の形成を目指します。

② 環境豊かなうるおいの都市空間

○他の地域では見られないほど豊かな緑と環境空間を兼ね備えた、にぎわいとうるおいの都市空間の形成を目指します。

③ すべての人が利用しやすい都市空間

○多くの人が交流する本地域において、すべての人にわかりやすく、快適で、安全な、ユニバーサルデザインの都市空間の形成を目指します。

④ 利用者ニーズを取り込んだ、協働のまちづくり

○多様な利用者のニーズを、まちづくりの進捗にあわせて把握し反映させることによって、より良いまちをみんなが一緒につくることを目指します。

都市空間の基本構成と全体像

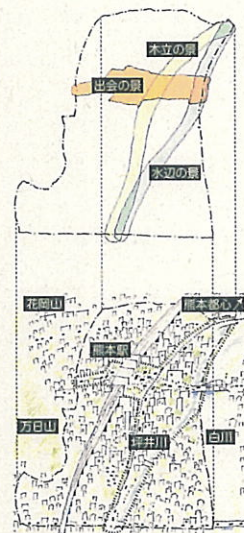
基本構成

① 3つの景を中心にわかりやすい都市空間を構成する

- ・都市空間の骨格を、従来の“軸”ではなく、“ひと”の目線から捉える空間のまとまりを指し、建物や道路、水や緑など全ての空間要素により構成される「景」としてとらえる。
- ・この「景(けい)」を骨格とすることにより、個性と調和、連続性が共存するわかりやすい都市空間を構成する。

② 豊かな水と緑に満ちた熊本らしい都市空間を構成する

- ・借景となる万日山や花岡山、白川や坪井川など、これまで地域に親しまれてきた水や緑を大切にしながら、新たに整備される水や緑と共に、うるおいに満ちた熊本らしい都市空間を目指す。
- ・特に、「緑」を地域の一体感を醸成する重要な要素と位置づけ、駅付近から周辺へ「にじみ出す」よう自然な連続性に配慮する。
- ・大きな樹木だけでなく足元の緑などにも配慮し、自然で安全な公園のような空間を目指す。



全体像



であい けい 出会の景 広場が結ぶ緑と出会いと交流の空間

熊本の玄関口として、広域交通結節点の駅を中心に緑と賑わいに包まれた快適でわかりやすい空間

こだち けい 木立の景 地域とつくる木立の中を市電が走る空間

民有空間と公共空間が一体となった、緑の街並みの中を市電が走る、美しい空間

みずべ けい 水辺の景 水辺とまちが交差する回遊空間

地域資源を活かしつつ、田崎橋～水辺の広場～祇園橋を結ぶ安全で変化に富んだ水際の回遊歩行空間

生活空間 (3つの景以外の空間)

地域の生活に密着した基盤として、地域で育てる身近な生活空間

熊本駅周辺都市

熊本駅西口駅前広場

県都の品格ある陸の玄関口にふさわしく、魅力的で利用しやすい癒しの空間を創出します。



新幹線駅舎



南の回遊拠点・合同庁舎移転(写真はA棟)

九州、熊本の行政中枢を担う合同庁舎は2棟の建物からなり、段階的に建設・移転を行います。合同庁舎周辺は、南の回遊拠点として坪井川や市電の電停とあわせた憩いとやすらぎの空間を創出します。



シンボルロード空間(熊本駅帯山線・東A再開発区域)

道路空間と再開発空間を一体的に活用したシンボルロード空間を創出します。広々とした空間はイベントや待合いなどの交流舞台となるほか、その先にある水辺空間へと人々を誘います。



熊本駅北部線

民有空間と公共空間が一体となった、緑のまち並みや空間を創出します。



空間のイメージ



熊本駅城山線
 化された軌道を市電が走る、森の都にふさわしい美しい



東A地区市街地再開発事業
 ホテルニューオータニとともに駅前の顔となる再開発ビルには市の情報交流施設や高層住宅等を整備します。



熊本駅東口駅前広場
 県都の品格ある陸の玄関口にふさわしく、魅力的で利用しやすい癒しの空間を創出します。



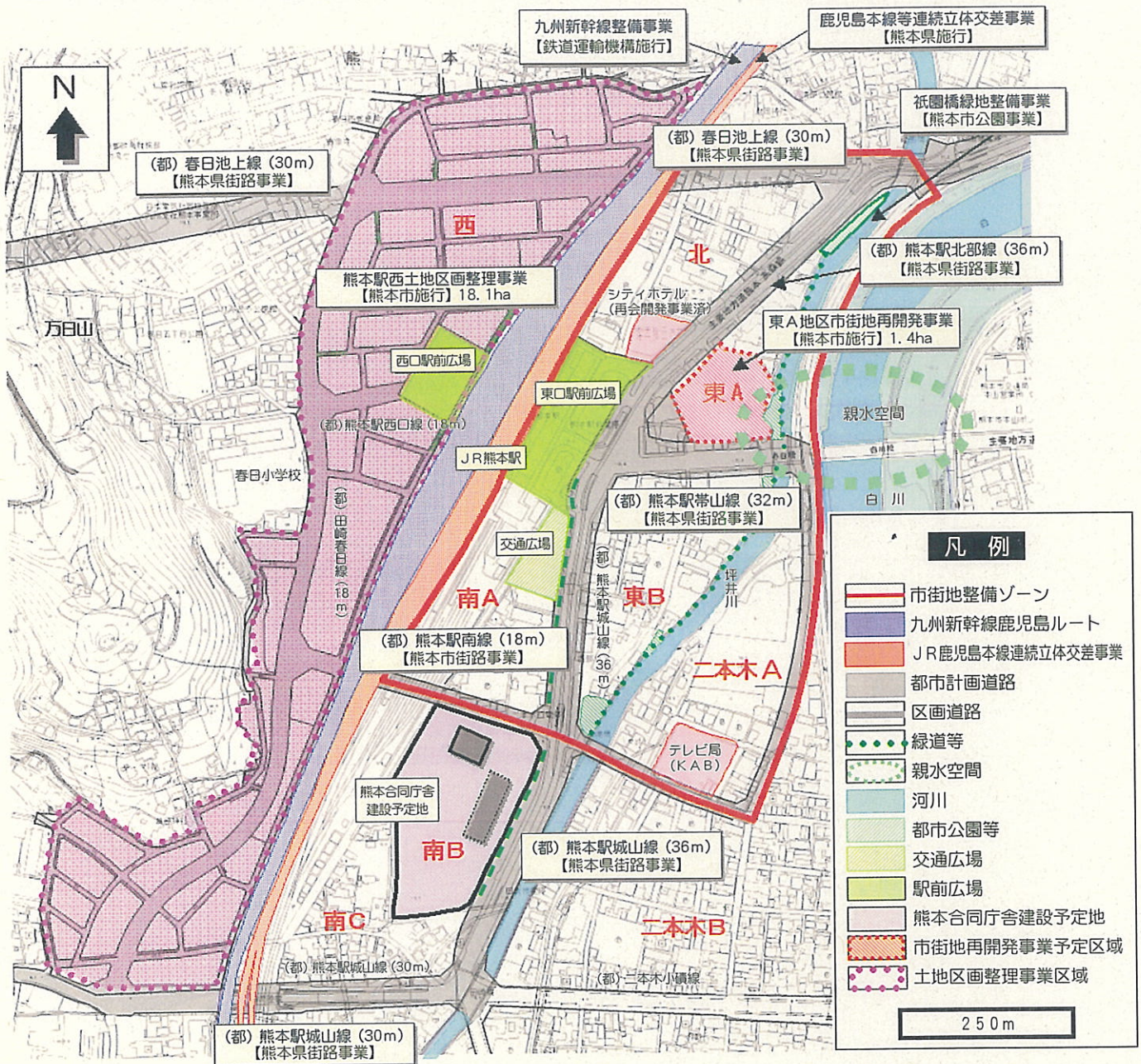
水辺広場
 「連続性ある空間ネットワーク」の拠点として、坪井川を活用した親水空間を創出します。また水辺を眺めながら散策できる水辺の小径を設け、南北の回遊拠点と連絡する歩行ネットワークを形成します。



(註)ここに掲載している鳥瞰図(スケッチ)は検討中のイメージであり決定されたものではありません。

熊本駅周辺整備計画

熊本駅周辺における各整備計画は以下のとおりです。これらの計画にもとづき駅周辺地区の整備を進めていきます。

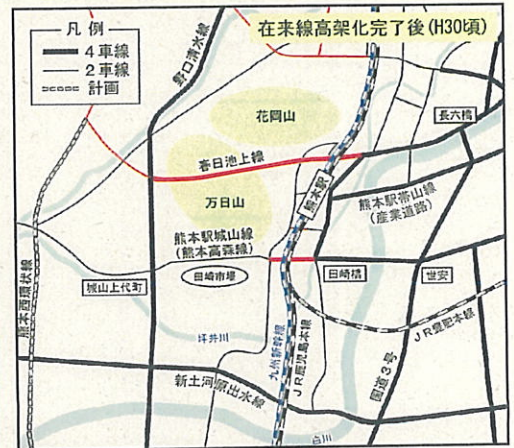


関連道路の整備計画

熊本駅周辺地区の整備とともに、関連する都市計画道路網の整備を推進します。これらの都市計画道路網の整備を行うことで、熊本駅周辺地区内に流入している通過交通の転換を図り、駅前交差点における混雑を解消し円滑な交通処理を実現していきます。



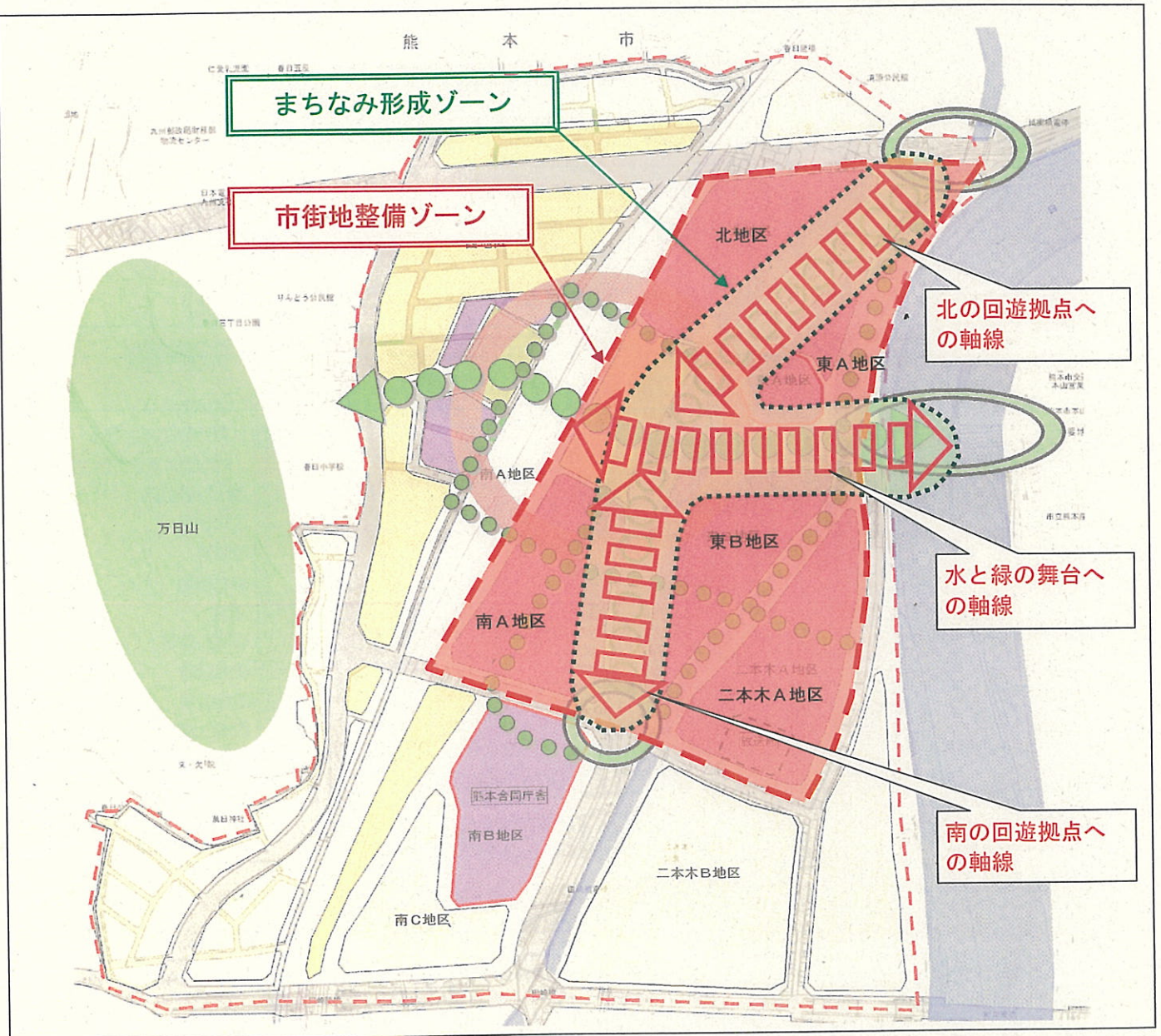
※赤線は、新幹線開業時 (H23) 迄の整備区間



※赤線は、在来線高架化完了後 (H30頃) 迄の整備予定区間

市街地整備の基本方針

- まちなみ形成軸周辺を『**まちなみ形成ゾーン**』と位置づけ、沿道は熊本駅周辺にふさわしいまちなみや人に優しいアメニティ空間を形成するために、民間開発等にあわせた壁面後退等により、公共空間の創出やまちなみ景観形成を誘導します。
- まちなみ形成ゾーンを含む北地区・南A地区・東A地区・東B地区・二本木A地区を『**市街地整備ゾーン**』と位置づけ、民間開発や個別建て替え等に伴い、良好なまちなみを形成するとともに、地区施設等の整備を進めます。



《基本的方針》

- ・ 幹線道路沿道等において壁面の位置の制限を設定し、ゆとりある歩行者空間の形成を図る。
- ・ 県都の玄関口として魅力ある良好な都市景観を形成するため、建築物の意匠の制限を設定する。
- ・ 建築物の用途の制限により、良好な市街地環境の形成を図る。
- ・ 駅周辺においては、県都の玄関口として効率的な建築物整備の誘導を図るため、容積率の緩和を行う。
- ・ 各地区ごとの土地利用方針を実現し、土地の有効活用の促進を図るため、地区施設の配置を行う。

熊本駅周辺のまちづくりへ向けて

熊本駅周辺のまちづくりは、新幹線完成時（平成 22 年度）を当面の目標、在来線の高架化完了後（平成 30 年頃）を将来目標とし、概ね以下のスケジュールで進めていく予定です。

項 目	項目区分	実施主体	実施内容等	実施スケジュール																										
				16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30												
九州新幹線		鉄道・運輸機構	・博多～新八代 122km 熊本市域 約23 km																											
都市基盤	鉄道高架化	熊本県	・JR鹿児島本線 約6km ・豊肥本線約1km																											
	東口駅前広場	熊本県	・現在の面積9,600㎡を14,200㎡に拡張 ・南A交通広場(3,800㎡)																											
	春日池上線	熊本県	・区画整理区域外区間 ・幅員30m																											
	熊本駅帯山線	熊本県	・幅員32m																											
	熊本駅城山線	熊本県	・駅～田崎橋 幅員36m ・市電のサイドリザーベーション化 ・田崎橋交差点～田崎春日線交差点 幅員30m	 																										
	熊本駅南線	熊本市	・幅員18m																											
	東A地区	東A地区市街地再開発	熊本市	・地区面積:1.4ha ・延床面積:約51,900㎡	 																									
	まちなみ形成	民間	・市街地整備計画に基づいた建築物等の整備	 																										
東B地区	まちなみ形成	民間	・市街地整備計画に基づいた建築物等の整備																											
南A地区	まちなみ形成	民間	・市街地整備計画に基づいた建築物等の整備																											
南B地区	合同庁舎移転	国	・敷地面積:約2.5ha ・総床面積:50,000㎡(A、Bの2棟計画) ・計13官署入居予定 ・人や環境にやさしい施設、魅力的な公共空間を創出																											
二本木A地区	まちなみ形成	民間	・市街地整備計画に基づいた建築物等の整備																											
	新しい街路整備	熊本市	・街区道路の整備																											
北地区	まちなみ形成	民間	・市街地整備計画に基づいた建築物等の整備																											
駅西地区	土地区画整理	熊本市	・事業地区面積約18.1ha ・コミュニティ住宅、コミュニティセンター整備																											
	西口駅前広場	熊本市	・面積5,700㎡																											
	春日池上線	熊本市	・幅員30m																											

(注)本資料に掲載されている絵・図面等は、検討中のイメージであり決定されたものではありません。

【お問合せ先】

熊本県熊本駅周辺整備事務所

TEL : 096-323-8200 FAX : 096-323-8201 Email : kumamotoekisyu@pref.kumamoto.lg.jp

熊本市都市建設局熊本駅周辺整備事務所

TEL : 096-323-8177 FAX : 096-323-8052 Email : ekishuhenseibi@city.kumamoto.lg.jp